

# がんばるぞ

## 議会だより No.157

5月臨時会	.....	P 2
6月定例会	.....	P 3
議案質疑	.....	P 4
委員会質疑	.....	P 5

議決結果一覧	.....	P 6
議会のうごき	.....	P 7
一般質問	.....	P 8～
あとがき	.....	P 20

表紙企画：表と裏で一つの記事となっています。見開きでお楽しみください。

5月  
臨時会

一般会計補正予算等4件を審議

5月11日

補正予算

令和5年度苅田町一般会計補正予算(第2号)は、1億6千625万円を追加し、補正後の総額は158億626万2千円。

その他の議案

●財産の取得

給食センターの食器・食缶洗浄ライン機器

●専決処分

●条例改正

●税条例

・国民健康保険税条例  
地方税法等の一部改正による所要の改正。

委員会質疑

厚生文教  
常任委員会

●一般会計補正予算(第2号)

Q 子育て世帯生活支援特別給付金対象者

【一般会計(第2号)】	1億4297万円 2329万円
【国民健康保険特別会計(第1号)】	1900万円



苅田町立学校給食センター

は。  
A 対象者は407件、690名。

●国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

Q 繰り上げ充用の決算見込み額は。  
A 1500万円程度と考えている。

●財産の取得

Q 入札業者の入札額の大きな差が見受けられるが品質等も含め大丈夫か。  
A 落札業者は実績もあり、金額も妥当である。

令和5年第3回 苅田町議会臨時会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	末石伸二	花見文敏	村上智宣	岩谷潔	尾形均	白石学	友田敬而	榎谷忠明	小山信美	井上修	武内幸次郎	梶原弘子	松蔭日出美	沖永義樹	坂本議長	結果	
議案第38号	令和5年度苅田町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第39号	令和5年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第40号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第41号	専決処分について(苅田町税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第42号	専決処分について(苅田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認

○-賛成、×-反対 除-除斥(議案に利害関係を有するため退席) 欠-欠席  
※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。

6月  
定例会

一般会計補正予算等15件、発議1件、意見書3件を審議

6月7日  
～  
6月23日

補正予算

令和5年度苅田町一般会計補正予算(第3号)は、1億2千893万1千円を追加し、補正後の総額は159億3千519万3千円。

地方自治法の一部改正により、議員個人の請負の状況を公表するため。

●条例改正

●政治倫理条例

地方自治法の一部改正により、議員個人による町の請負に関する規制が緩和されたため。

●職員の特殊勤務手当に関する条例

●議会議員の請負の状況の公表に関する条例

その他の議案

●工事請負契約の締結

総合体育館改修工事を仮契約(溝江建設株式会社)するもの。

●新たに生じた土地の

確認、町の区域の変更  
苅田沖土砂処分場公有水面埋立事業が部分竣工し、空港南町に編入。

人事案件

●農業委員会委員の任命

岩谷 潔氏  
緒方 智保氏  
尾形 均氏  
細川 知則氏  
松蔭 悟日梅氏  
松蔭 美紀子氏  
笠 正則氏  
を選任することに同意。

意見書

●特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書  
●最低賃金の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書  
●東九州新幹線の早期整備と実現を求める意見書

\*令和5年度補正予算(歳出で補正した主なもの)

【一般会計(第3号)】	1650万円
・小波瀬西工大前駅周辺整備計画調査業務委託料	
・再工ネ推進補助金	1847万円
・学校給食費無償化	8958万円
・地域商品券発行事業	4000万円
【下水道事業会計補正(第1号)】	11億7989万円
・水処理施設更新・汚泥処理施設増設事業(R5年度～7年度)	



苅田町総合体育館



苅田町空港南町

## 議案質疑

### ● 一般会計補正予算 (第3号)

#### 【総務費】

Q 再エネ推進補助金について、総合福祉会館、新津中学校、二崎浄水場の選定根拠は。

A 町内の公共施設では改修工事が予定されており、太陽光パネルを屋根に設置するため、防水工事がない、または既に終わっている施設を選んだ。政府の方針もあり、町としても積極的に脱炭素の取り組みを考えた。

Q 老朽化している施設に対して、発電量はどのくらい見込んでいるのか。

A 現在、見積中である。

## 委員会質疑

### 総務

#### 常任委員会

### ● 一般会計補正予算 (第3号)

Q 省エネ推進補助金の内容は。

A 太陽光パネルを町内の7施設に設置する計画。(㈨北九州パワーが施工し、管理する。

#### ● 政治倫理条例

Q 条例第14条2項にある、施行令(昭和22年の政令)で定める額以上の内容は。

A 金額を定めており300万円。

#### ● 火災予防条例

Q 条例の改正内容は。

A 電気自動車の急速充電設備の全出力の規制をなくすもの。

る。予算がついた後、業者と設置方法等の詳細を決定して、細かい発電量が決まる。

Q 建物に支障をきたした場合はどうするのか、点検等の取り組みや20年間の買取等、その後はどのようにするのか。

A 基本は第三者方式。設置費用やメンテナンス等の費用については、発電した電気代で賄う。20年後は国の動向をみて考える。

#### 【衛生費】

Q 出産子育て応援事業の「アンケート調査」の取り組み、期間、対象人数は。

A このままずっと続いていくと思われる。対象人数は、1カ月当たり、30人位と考えている。

## 産業建設

#### 常任委員会

### ● 一般会計補正予算 (第3号)

Q 北谷林道の離合場所の拡幅工事も並行しているのか。

A 6月下旬までに離合場所の確保を予定しており、今後の状況により必要があれば、追加の対策を行う。

Q 復旧工事の工期は。

A 令和7年度と令和8年度に工事を行う。

Q 電子マネーの取り扱いについての周知方法は。

A 広報による周知のほか、電子マネーの利用に関する動画をあげたり、町立公民館での説明会を予定している。

Q 電子アプリと紙の商品券の販売比率と時期は。

Q アンケート調査はどう反映されるのか。

A 新生児の訪問等に活かしたいと考えている。

#### 【農林水産業費】

Q 県道拡幅工事の内容について。

A 県道須磨園南原曾根線歩道の拡幅工事に伴う岡崎第2ポンプ施設工事により発生した事後補償について、補償内容に同意を得た。

Q 測量設計の場所は。

A 昨年の3月に青竜林道の一部が崩壊しており、通行止めをした約1.5キロ区間。

#### 【商工費】

Q 地域商品券発行補助金について効果は。

A 地域経済の活性化を図るため、町も補助金を出しているが、

効果について詳細はわからない。

Q アンケートは取っているのか。消費者、販売業者、どちらのためにやっているのか。

A アンケートは取っている。あくまでも消費喚起を目的としている。

Q 地域の商店街のためになるような仕組みにできないか。

A 大型店舗と小型店舗で半々となるよう限度額を設定し、すみ分けができるようにしている。

#### ● 工事請負契約の締結

Q 総合体育館改修工事の入札結果について、辞退理由は。

A 3社辞退のうち、「予定価格内で施工できない」が2社、「技術者が配置できない」

理方法を見直した理由は。

A 今後の人口減少による処理水量の減少を勘案し、その際に最も適している方式を追加した。

## 厚生文教

#### 常任委員会

### ● 一般会計補正予算 (第3号)

Q 保育所等給食支援費補助金の内容は。

A 保育所の給食にかかる食材料費の高騰の費用を補助。

Q 保健事業支援システム改修委託料の内容は。

A 健康管理システムに出席・子育て応援給付金にかかるアンケート機能を追加するもの。

Q 学校給食費減額の

が1社。

Q 総合体育館改修工事について、耐震も含まれるのか。

A アリーナ部分についての耐震改修を予定。

Q 総合体育館改修工事について、空調を新たに設置するのか。

A 現状の方式とは違う形でのエアコン設置を考えている。



岡崎第2ポンプ場

説明を。

A 令和5年7月から令和6年3月まで給食無償化のため、地方創生臨時交付金を充当したこと、今回減額を行った。

Q 町内の小中学校で行っている事業は。

A ふくおか学力アップ推進事業、学力向上推進拠点校指定事業、情報活用能力向上事業、リーダーングDXスクール事業の4つの事業を実施。

Q 事業を行うことで、教師の負担が増えないのか。

A 県から教員が配置され、現場の教師の支援や助言をすることにより教師の負担を減らす。

Q 要保護児童生徒と準要保護児童生徒の説明を。

A 要保護児童生徒は生活保護を受けている方、準要保護児童生徒は就学援助を受けている方である。

#### ● 工事請負契約の締結 (総合体育館改修工事)

Q 工事の内容は。

A 耐震の補強、屋上防水改修、外壁改修、電気改修、LED化、衛生器具の改修、建具の改修、太陽光発電設置、空調設備等の工事である。

Q 改修により今後、何年ほど使えるようになるのか。

A 20年程度。

Q 建て替えと改修工事の比較検討はしたのか。

A 令和元年にマネージメント推進委員会にはかり、比較検討を行った。

# 議会のうごき

3月	23日	議会広報特別委員会（議会報 156 号の企画・編集）
4月	3日	議会運営委員会（区長連合会からの陳情について）
	5日	議会広報特別委員会（議会報 156 号の企画・編集）
	12日	議会広報特別委員会（議会報 156 号の企画・編集）
	19日	全員協議会（区長連合会からの陳情について）
5月	11日	全員協議会（令和 5 年第 3 回臨時会提出予定議案について） 議会運営委員会（令和 5 年第 3 回臨時会提出予定議案について） 臨時会 付託委員会（総務）（厚文） 産業建設常任委員会（苅田町工場適地調査業務の結果について）
	29日	議会運営委員会（6月定例会について）
	6月	1日

## 9月定例会の予定

- \*会期は 8 月 25 日（金）から 9 月 12 日（火）まで
- \*一般質問は 9 月 4 日（月）・5 日（火）
- \*問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

## 議会中継アクセス件数

6月末時点アクセス件数  
（令和 5 年 4 月からの累計）  
ライブ中継 **270** 件  
録画中継 **738** 件

## インターネット中継実施中！

苅田町ホームページの「インターネット議会中継」をクリックすると、苅田町議会インターネット中継の画面が表示されますので、「ライブ中継」または「録画中継」をクリックし、ご希望の会議映像をご覧ください。

### パソコンの場合



ココをクリック！

### スマホ・タブレットの場合

一般質問のページに、質問時の録画映像を視聴できる QR コードを、質問議員ごとに掲載しています。

QR コードを読み込む



- 注意事項
- ・録画中継は、ライブ中継終了後 4 日程度（土・日・休日その他の閉庁日を除く）でご覧になれます。
  - ・映像をご覧になるには、Flash Player プラグイン のインストールが必要な場合があります。
  - ・映像配信を多数の方が同時にご覧になった際に、映像が正しく表示されない場合があります。

# 令和 5 年 第 4 回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	末石	花見	村上	岩谷	尾形	白石	友田	榎谷	小山	井上	武内	梶原	松蔭	沖永	坂本	結果
発議案第 2 号	苅田町議会議員の請負の状況の公表に関する条例	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 43 号	令和 5 年度苅田町一般会計補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 44 号	令和 5 年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 45 号	令和 5 年度苅田町下水道事業会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 46 号	苅田町政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 47 号	苅田町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 48 号	苅田町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 49 号	工事請負契約の締結について（苅田町総合体育館改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 50 号	新たに生じた土地の確認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 51 号	町の区域の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
議案第 52 号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 同意
議案第 53 号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 同意
議案第 54 号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 同意
議案第 55 号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 同意
議案第 56 号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 同意
議案第 57 号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	- 同意
議案第 58 号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	- 同意
意見書案第 1 号	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
意見書案第 2 号	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決
意見書案第 3 号	東九州新幹線の早期整備と実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	- 可決

○-賛成、×-反対 除-除斥（議案に利害関係を有するため退席） 欠-欠席  
※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。※可決された意見書は関係機関に送付しました。



一般質問内容一覧

6月定例会において  
11名の議員が質問

質問者氏名	質問要旨	掲載
末石 伸二	1. 小波瀬西工大前駅周辺整備 2. 学校教育 3. コロナの状況	9 ページ
小山 信美	1. 带状疱疹の予防強化 2. 災害に強いまちづくり	10 ページ
松蔭日出美	1. 本町の目指す町作りは	11 ページ
白石 学	1. アピアランス（外見）ケア推進 2. パンジープラザ廃止 3. 奨学金貸付制度 4. 学校給食費	12 ページ
梶原 弘子	1. 小波瀬駅について 2. 総合福祉会館へのパンジー移転の問題について 3. 町内急傾斜地対策について	13 ページ
岩谷 潔	1. 町の環境を考える 2. 給食の残菜について 3. 農業者支援策について	14 ページ
武内幸次郎	1. 片島・白川地域の振興施策について 2. 企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）について 3. 組織機構と人事配置	15 ページ
榭谷 忠明	1. 公共施設の点検は 2. 与原小学校の通学路 3. 食育について	16 ページ
尾形 均	1. 脱炭素社会実現に向けて	17 ページ
友田 敬而	1. 商店街：地域商業の振興 2. 磯浜緑地 3. ピュアタウン菟田について	18 ページ
井上 修	1. 防災対策について 2. パンジープラザについて 3. 選挙の投票について	19 ページ

一般質問について掲載している内容は、会議録に基づき質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。なお、一般質問の録画映像は、菟田町議会ホームページでご覧いただけます。

実現性の可否を  
判断する時期は

A 令和6年度までと  
設定している



末石 伸二（飛翔の会）



Q 測量調査や計画の  
具体的な内容は、

A 地形や構造物、周  
辺エリア等の影響す  
る範囲を測量後、鉄  
道施設等の整備に向  
けた計画調査を行う。

Q 今後の計画は、

A 測量は、令和5年  
度中に終了したい。  
業務全体の計画業務  
も令和6年度中に完  
了する見込み。

Q 駅周辺の課題解決

に向け、平成31年度  
に補助金も含めた約  
1200万円の調査  
事業を実施している  
が、その活用は、

A 今後の計画を実施  
する上で、調査した  
内容を活用していく。

Q 駅舎移転が整った  
前提で完成までの手  
順は、

A 施設の基本設計、  
詳細設計、実施設計。  
用地確保により工事  
着手の手順となる。  
その他、都市計画決  
定の手続きや補助金

申請等を想定する。

Q 完成期間は、

A 委託業務完了後、  
工事着手には、3、4  
年を予測しており、  
現時点で完成時期は  
読めない。

学校教育

Q 給食費の無償化は  
物価高が継続した場  
合、来年3月以降も  
継続するのか。

A 国の推移を見守り  
ながら検討してい  
きたい。

Q タブレットの持ち  
帰り状況は、

A 本町として、本年  
度の目標を週1回以  
上の持ち帰りを行う  
ことと定めている。

Q 補正予算にある小  
中学校の生徒用タブ  
レット予備機購入費  
とは、

A 故障機も増えてお  
り、修理中により使  
用できない事態を避  
けるため、125台  
を配備したい。

Q 年間の修理台数と  
費用は、

A 約2年間で227  
台。修理費用は、1  
台当たり1、2万円か  
かっている。

Q タブレット本体の  
更新時期は、

A 5、6年で更新をす  
べきと考えている。  
Q 今後の更新費用の  
進め方は、

A 数年後には約2億  
円程度の支出が想定  
されるが、補助制度  
も含め、国からの情  
報を注視していく。

コロナの状況

Q 京築における定点  
観測の状況は、

A 5月29日から6月  
4日の時点で25件と  
微増が見られる。

Q 春接種の対象人数  
に対し、予約人数と  
予約率は、

A 6月9日時点で対  
象人数は9635名、  
予約人数が5776  
名、予約率は約60%  
である。



児童生徒用タブレット



### Q 带状疱疹ワクチンの公費助成を

#### A 国の協議状況を注視する



小山 信美 (公明党)



Q ワクチンについて町の認識は。

A 医療機関に問い合わせや接種あり。種類は2種類で、価格により免疫の効果に差がある。

Q 本町の罹患者数は。

A 推計で約4000人。

Q 周知の啓発は。

A 広報紙、ホームページ、LINE。

Q 他導入自治体の取り組みについては。

A 太宰府市と朝倉市の導入は認識してい

る。近隣市町村の動向、管内医師会の見解を参考にする。

#### 豪雨対策

Q 雨水対策の部署の設置と進捗状況は。

A 上下水道課を中心に

関係各課のプロジェクトチームで、雨水管理総合計画の策定に向け検討中。

Q 構成メンバーと会議の頻度は。

A 危機管理室と建設課、上下水道課で2

カ月に1回行う。

Q 計画の開始は。

A 優先順位や施設整備の方針等、事業計画の後になる。

Q 具体的には。

A 目的を今年度決め、浸水やポンプ場の対策施設のシミュレーションを行い、事業規模を決定する。

Q 排水ポンプ車の検討はしたのか。

A 価格が高く、操作等の人員確保等を考え慎重になっている。

Q 個別避難計画の進

捗状況は。

A 登録制度を設けており、約500名の中から優先度の高い人を抽出している。

Q 埼玉県久喜市の防災アプリの事例について、本町の考えは。

A 現在取り組んでいるものと、福岡県の「まもるくん」を周知努力する。

Q 聴覚障がい者に対する避難誘導や声か

けの方法は。

A 聴覚障がい者向けお知らせメールで対応。避難所は、手話通訳者を派遣したい。

Q 避難所のオストメイト対応トイレの備蓄については。

A 岐阜県土岐市の取り組みを参考にする。

Q 指定一般避難所の5カ所と小学校6校・新津中学校との備蓄内容の差は。

A 5カ所は食料や飲料水等、7カ所は段ボールベッドやパ

ティション、照明資機材等である。

Q 避難所に女性職員

の配置を。

A 男女1人ずつを明

記し周知する。

Q 体育館の空調設備に、優先順位をつけて整備を。

A その方向で検討。

たい じょう ほう しん  
50歳を過ぎたら 带状疱疹の 予防接種ができます。

日本人成人の90%以上は、  
带状疱疹の原因となるウイルスが  
体内に潜んでいて<sup>1)</sup>、  
80歳までに約3人に1人が  
带状疱疹になるといわれています<sup>2)</sup>。

1) 国立感染症研究所 病原微生物感染症情報 (IASRI)「水痘・带状疱疹ウイルス」  
(https://www.nid.ac.jp/infocenter/kyuugaku/0112-waterlike-herpesvirus-sarban2017.html, 2022年12月17日閲覧)  
2) Shindo E, et al. Open Forum Infect Dis. 4(1), ofz007, 2017

【編集協力】 愛知医科大学皮膚科学講座 教授 渡辺大輔 先生

グラクソ・スミスクライン株式会社

### Q 県道苅田採銅所線については

#### A 早期施工を県に要望



松蔭日出美 (無党派)



舗装の必要性を検討

したい。

Q 苅崎の農道整備については。

A 主要な道路を結ぶ農道の優先順位が高いと考える。今後、地元と協議して考え

たい。

Q 水路の整備については。

A 水路の改良工事についても、優先順位等を地元と協議し、事業を行うかどうかを考えた。

Q 地元負担金については。

A 農道・水路の改良等工事については、地元負担金として事業費の10%を負担していただいている。できるだけ補助金を活用し、地元の負担

を軽減したいと考えている。

Q 舗装整備の負担金は必要か。

A 農業の施設等について、特定の方が受益を受けるものについては、その方に新設、改修、補修費用の一部を負担していただく。苅崎の舗装についても同様に考えている。

Q 負担金がかからない方策はないのか。

A できるだけ国県補助を活用し、地元の負担が少なくなるような形で、今後検討していきたい。

Q 事業開始はいつから。

A 事業要望や地元との調整、事業費の検討などもあり、来年度実施できるかは分からない。地元と協

議し、合意した箇所については事業化をしていきたい。

Q 水路を広げてふたかけをしてみたい。

A 農業用水路については、維持管理の面で、ふたが無いほうが管理しやすいと考える。

#### 京都府

Q 進捗状況は。

A これまで、調査・

設計、関係機関と協議、立木等の伐採を行っている。今年度、借地部の用地交渉や道路工事の一部を予定。

#### 谷区の水路ふたかけ

Q 現状と今後は。

A 令和2年度より順次整備を進めている。今年度水路整備が完了する予定。

A 県道や町道などの主要道路を結ぶ農道について、利用者や利用頻度等の調査を行い、地元との協議の後、



鋤崎圃場



谷区

### Q医療用ウィッグ等の助成を

### A早期の助成実施に向け準備する



白石 学 (公明党)



福岡県が、アピアランス(外見)ケアの事業を推進している。町の認識は。

A 医療用ウィッグ、補装具等の助成を、みやこ町、吉富町、上毛町が実施。早急に準備を進める。

Q 神奈川県寒川町は、9割助成で上限3万円。福岡県は2万円か1万円だが、町としてそれ以上の助成は。

A 県の上限分を想定しているが、検討課

題とする。

Q 導入に際し、周知の方法は。

A 広報誌、ホームページ、LINE、母子手帳アプリ等を利用して努力していく。

### パンジープラザ廃止

Q 議会も福祉の後退等の懸念を指摘した。各団体と基本方針の見直しに至った経緯は。

A 各団体と20回ほど協議した。その結果、

3月議会の報告内容では無理があり、見直した。

Q 「新たな施設を建設しない」ことを見直して、新施設を建てるのか。

A 新しいものを建てる方向で検討し、規模・コストを算出して工事にかかり、新事業を始める。

### 奨学金返還支援制度

Q 昨年12月の町長答弁で、議論を重ねて

いる。難しい問題があり、検討するとあつたが。

A 返還免除型や返還補助型について検討している。

Q 免除とは。

A 貸付終了後に、返す金額を定め、その分を免除する。県内3団体が行っている。

Q 子育て政策として、来年度以降の給食費無償化を継続しては

A 先行自治体を調査し、本町にふさわしい制度を検討する。

### 学校給食費無償化

Q 年間1億2千万円を町が続けるのは大変な負担だ。国の動向を注視しながら考える。

### 「福岡県アピアランスケア推進事業」のご案内

福岡県は、がん患者やがん経験者のがん治療に伴う心理的負担を軽減するとともに社会参加を促進し、療養生活の質の向上を目的に、医療用ウィッグや補装具等の購入費を助成する市町村を支援します。

※「アピアランスケア」とは、治療に伴う外見の変化(脱毛、爪の割れ、手術痕や身体の部分的な欠損など)に対し、「その人らしくいられる」ように外見とともに周りの環境や患者本人の気持ちを整えるサポートです。

#### < 事業概要 >

1. 実施主体：市町村
2. 対象者：がん患者及びがん経験者  
※対象者が属する世帯の市町村民税のうち所得割課税年額が23万5千円以上になる場合は対象外となります。
3. 助成の対象となる用具：医療用ウィッグ等及び補装具等  
① 医療用ウィッグ等 ⇒ 医療用ウィッグ、装着用ネット、毛付き帽子  
② 補装具等 ⇒ 補装パッド、補装下着、専用入浴着、弾性着衣(弾性ストッキング、弾性スリーブ、弾性グローブ)、エビテーゼ
4. 助成額：購入費の1/2  
※助成上限額  
① 医療用ウィッグ等 20,000円 / ② 補装具等 10,000円  
※①、②それぞれ1回を限度に助成

#### < 実施市町村 (令和5年6月時点) >

北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、豊前市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、うきは市、嘉麻市、みやま市、糸島市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、久山町、粕屋町、戸畑町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、筑前町、大川町、香春町、添田町、川崎町、みやこ町、吉富町、上毛町  
※今後、随時実施市町村の状況を更新していきます。  
※事業の内容は市町村によって異なる場合がありますので、事前に市町村にお尋ねください。

福岡県 保健医療介護部がん感染症疾病対策課

TEL:092-643-3317 (直通) FAX:092-643-3331 E-mail:shippe@pref.fukuoka.lg.jp

福岡県アピアランスケア推進事業の案内

### Q小波瀬駅については

### A地元や関係者の理解を得ながら進める



梶原 弘子 (無党派)



Q 小波瀬駅は駅舎を移動して、新しい駅をつくるのか。

A 鉄道事業者と町が連携し、駅周辺等を一体的に改良する予定である。

Q 駅舎はどれくらい動かすのか。

A 駅南側にある駅広場を利用する。

Q 現在、駅の横に店や家がある。ここも移動するのか。

A 今回、委託業務の中で、測量などを行い、計画を立てた上

での決定となる。

Q 関係者への説明はいつするのか。

A 昨年12月に、整備の方向性など協議していくと報告した。

Q 駅の近くに店や住居がある。その説明はいつするのか。

A 詳細設計後、説明する。

Q 数少ない件数であり、協力いただくために、丁寧な説明が必要では。

A JRと協定を結んだ範囲内や基本設計

等を順次、地元や関係者の理解を得ながら進めていく。

提言 近隣の方々に集まっていただき、安心を与えるための説明をしていただきたい。

### 総合福祉会館

Q 狭い総合福祉会館へ「パンジー」の方たちが移転する問題について、関係者との話し合いはどのようだったのか。

A パンジー廃止に伴う議論や協議は20回程度、各団体と行っている。

Q 詳細は。

A 社会福祉協議会と7回、よろこびネットと2回、夢ニティーハートと3回、シルバー人材センターと6回、老人クラブ連合会と1回。

Q 数回ずつの話し合いをしているが、折り合わず回数が増えたのか。

A 事務担当者ですり合わせを行い、その後、社会福祉協議会と三原文化会館で正式な協議の場を持ち、パンジープラザ廃止に関して、一定の理解を得られたと思っている。

Q パンジープラザから離れるのが難しい

といった団体はあったのか。

A そのような団体はなかった。移転に不安があったり、設備面、機能面に不安があるので、一緒に考えてほしいとの意見はあった。

Q 「くすのき作業所」では多くの人たちが

作業をしているが、どこに行くのか。

A 民間への移転なども含めて検討をしていただくよう、お願いしている。

提言 障がいを持った人たちを大切にすることが大切にしていただきたい。



小波瀬西工大前駅広場

### Q住宅で高断熱化や省エネ設備の補助金は

A制度はない



岩谷 潔 (飛翔の会)



### 環境レポート

Q 河川や海水質検査の測定場所の決め方は。

A 重要と思われる地点。

Q 毎年同じ場所か。

A 同じ場所。

Q 小波瀬川、長峡川以外の小さな河川は環境基準が適用されないとあるが。

A 大きな河川ではないため適用されない。

Q 小さな河川の方が基準を満たしていない。

い。町独自の基準を設けては。

A 継続して数値の悪い河川はなく、特に生活への問題はない。

Q 数値が悪い地点での原因は。

A 原因特定までは出ていない。

Q 環境保全協定を結んでいる事業者は年1回水質検査を行っているが、他の事業者は。

A 把握していない。

Q 公害苦情の中で悪臭と大気汚染とある

が、内容は。

A 悪臭は原因の特定に至っていない。大気汚染は野焼き関係が多い。

Q 臨海部の工場からの悪臭や煙突の煙が気になるが、把握しているか。

A している。調査をしているので特に問題ないが、原因の特定は難しい。

Q 悪臭に関して町民は敏感になっている。情報提供を。

A できる限り調査し対応する。

Q ごみのリサイクル率目標値25%とあるが、達成するための方策は。

A 役場玄関や各施設に古着や紙ごみの収集場所を設置している。

Q 紙ごみは個人情報等あり、資源ごみとして出しにくい。何か良い方法は。

A 他の自治体では紙ごみ専用の収集をしているところもあるが、費用等課題もある。民間の収集場の利用を。

Q 可燃ごみ収集の際、カラス等の動物対策は。

A 具体的な取り組みは行っていない。

提言 収集業者は、動物によって散乱した

### 給食残菜について

Q 減らすための方策は。

A 栄養教諭が学校を訪問して給食時間の様子を観察している。

Q 給食時間は。

A 小学校45分、中学校30分。

Q 残菜や残渣の処理方法は。

A 給食センターで粉砕し水分をきり、ごみとして出している。

Q 肥料化等、再利用しては。

A 考えていきたい。



令和4年版環境レポート

### Q白川・片島の地域振興を

A地域事情を考慮し対応していく



武内幸次郎 (大樹会)



Q 白川、片島両区の陳情状況は。

A 両区で41件。半数以上が水路補修。その他、道路補修、のり面補修、カーブミラー設置等の陳情がある。

Q 対応状況は。

A 1件取下げ、対応済み26件、県や警察等と調整が必要なものの6件、継続的対応案件が8件。

Q 白川、片島両小学校の児童数は。

A 片島小41名、白川

小70名。

Q 今後も児童数増の期待は持てない。行政課題であると考えるが。

A 避けて通れない課題だと認識している。

提言 統廃合や小中一貫校も視野に検討すべき。

### 農業振興

Q 5年、10年後の農業振興計画は。

A 公社を軸に、直売所や、農地利用増進

リース事業等を目指した計画であったが、実現していない。

Q 随分前から担い手不足だと言われてきた。対応対策は。

A 担い手不足、高齢化も一段と進んでいる。今年度、新規事業を設けた。推移を見守りたい。

提言 肥料や資材高騰に加え、米価は下降ぎみの状況だ。離農への歯止めとなる支援策強化を願う。

### 観光資源の創出

Q 青龍窟、鬼の唐手岩、広谷湿原と動線で結ばれている。谷発電所跡地から沢に沿い、飛竜の滝、青龍窟の間の遊歩道整備で、観光のスポットとなるが。

A 観光活用も考えられる、地域の方々の思いも考慮しながら考えたい。

Q 青龍林道の早期復旧、仮復旧、北谷林道の離合箇所の陳情対応は。

A 青龍林道1.5キロ区間5か所の構造物にクラックがある。早期復旧に全力を尽くす。北谷林道については、早急に対応したい。

Q 完成までに歳月を要し、松会開催の影

響が危惧されるが。A 復旧に数年かかる。従来どおりの開催は難しい。

### 現状に沿った都市計画

Q 木ノ元、猪熊地区沿線の農地は農振と調整区域の網が掛かり、現況と乖離している。見直すべきでは。

A 町の方針を出し、農振地域整備計画の見直しの際に、県と

協議したい。Q 将来的な土地活用の観点から考えれば、行政責任があるので。

A 市街化調整区域を市街化編入することは、現状では難しい。市街化田の土地利用が進めば考えられる。

Q 行政視点からの答弁だ。政治的な観点からは。

A 問題提起を頂いた。検討したい。



青龍林道通行止め



### Q 小中学校など 公共施設の点検は

**A** 危険個所がないか  
点検を依頼した



柘谷 忠明 (無会派)



### 公共施設の点検

**Q** 点検の結果と今後の対策は。

**A** 2校より危険個所の報告があり、既に認知していた1校と合わせた3校について、今後、改めて専門業者による点検委託を行う準備をし、結果を見て、修繕を予定している。

### 与原小学校の通学路

**Q** ヴィレッジハウス

苧田（旧雇用促進住宅）前の通学路について、雨が降ると水が溜まる。何か対策は。

**A** 道路については、苧田町舗装個別施設計画や陳情等に基づき、舗装の維持管理を行っている。

**Q** 子どもの安全を考えて、できるだけ早く取り組んでいただきたいが。

**A** 10号線と接し



与原小の通学路

### 食育について

**Q** 今後のごみ処理方式について。

**A** RDF方式か、焼却か、別の方法があるのか、現在、新しいごみ処理方式について検討を進めている。

**Q** SDGsの17項目に、食廃（食品ロス）

がある。他市町村の学校では、機械を設置し、食廃から堆肥を作っているところもある。そのような取り組みができないか。

**A** 自校方式で給食を提供している学校が機械を設置し、そのような取り組みを行っているが、本町はセンター方式であり、不向きと考える。

**Q** エコプラントに機械を設置し、作られた堆肥を公園にある

草木の肥料にしたらいと思うが。

**A** エコプラントの更新について検討を進めているが、堆肥についての検討は含まれていない。

**Q** 学校の花壇などにも使える。機械の導入を考えていただきたいが。

**A** 可能かどうか、コストやいろんな要素



苧田エコプラント(株)

があると思う。少し勉強してみたい。

**提言** エコプラントにおけるRDFの生成には、大量の灯油を消費する。灯油代を考えると、コンポストの機械を設定しても、かかる費用は変わらないと思う。一度検討をしていただきたい。

### Q 脱炭素社会への対応は

**A** 社会的責任として  
取り組んでもらいたい



尾形 均 (無会派)



**Q** なぜ温暖化問題が起きているか。

**A** 産業の発展に伴い、CO2の排出量が急速に増えている。

**Q** 社会構造の変化については。

**A** 発電、車、容器の使用等々で、化石燃料の使用が増加している。

**Q** SDGsとの関連については。

**A** 国連で決定した持続可能な開発目標の一つ。

**Q** コンセプトは、誰

1人取り残さない世界。これを達成するため、どう取り組んでいくか。

**A** 気候変動については、CO2削減に向けて取り組んでいきたい。

**Q** 本町では、自動車、

セメント、電力等の工場がある。これら企業に対してどう対応していくのか。

**A** 企業は社会的責任として取り組むことが求められる。脱炭素は企業として不可

欠な取組である。

**Q** 行政としても働きかけをすべきでは。

**A** 本町企業の特性として、CO2の排出が多い。カーボンニュートラル実現に向けて、設備投資等促進条例を制定し、奨励金を交付している。

**Q** この条例の目的は。

**A** 低炭素で持続可能な産業集積の促進を図ること。

**Q** この奨励措置に該当した企業、そして

進出予定企業はあるか。

**A** バイオマス企業1社に交付されている。今後、EV化進展により、関連企業の進出が予想される。

**Q** 奨励措置程度では、企業は大変だが、やらねばならない。

**A** 企業活動には介入できない。適切に対応してもらいたいと思う。

**Q** 個人としてできることは。

**A** 3Rの実践、エネルギーの節約、食品ロス、太陽光パネル付住宅、サステナブルファッションの活用等。

**Q** 身近な問題として、マイバッグ、マイボトルの持ち歩きなどの啓蒙活動を行っているか。

**A** 広報紙、窓口での発信、小学校への出前事業等を実施。

**Q** CO2削減については、各企業、個人にも、特段の協力を求めるよう働きかけは。

**A** 企業との対話の中

で、働きかけをやっ

**提言** この課題に対し、個人、企業ともに挑戦すべきだ。



苧田町の工場群

### Q 商店街の振興策は

### A プレミアム商品券の発行



友田 敬而 (大樹会)



Q 商店街・地域商業の現状は。

A 近隣への大型ショッピングモールの進出等を受けて、商店街への来街者数や店舗数が減少傾向にある。

Q その他の振興策は。

A 荻田町中小企業資金融資制度、創業相談ワンストップ支援窓口の設置や創業応援セミナーの開催など。

Q 行政における商店街の位置づけは。

A コミュニティ、

物品調達、飲食の場である。

Q 創業支援セミナーの内容は。

A 令和4年度、SNSを活用した情報発信について、セミナーを開催。

Q 創業のハウツーのようなことはしてないのか。

A 創業相談ワンストップ窓口を設置して行っている。

Q 半年の間に商店街で開業した店舗は、どのサービスを利用

した方が。

A ワンストップ窓口になる。相談窓口を利用して開業された方はいる。

Q 商店街活性化の肝は。

A 人が集まることだと考える。

提言 繁盛店ができる

ことで、賑わいができる。具体例として、博多の川端通商店街はさびれていたが、チャンネルティーの出現により人の流れ

が変わり、現在は活性化している。

### 磯浜緑地

Q 磯浜緑地の現状は。

A 港湾情報交流施設として平成20年に埋め立て工事が竣工し、事業化を進めることとしていたが、現在は整備未着手の状況であり、事業化に至っていない。

Q 今後の展望は。

A 社会環境や住民ニーズが大きく変化したことを受け、基本方針や基本計画を見直すなど、事業化に向けて準備を進めている。

Q 問題点は。

A 一定の制約がある中で、事業を進めていかなければならないこと。

### ピュアタウン荻田

Q 株式会社有化を進めている。その目的は。

A 一部の株主より廃業や高齢化を理由に株式譲渡の要望があり、自社株の取得が行われたと聞いてい

る。

Q 今後の商店街振興のキーマンは。

A ピュアタウン荻田、荻田商工会議所、荻田町商業協同組合、一般社団法人街づくり観光協会だと考える。



荻田町商店街

### Q パンジープラザについて

### A 福祉の後退にならないよう考えていく



井上 修 (飛翔の会)



### 防災対策

Q 本町で想定される災害は。

A 土砂災害、内水の浸水洪水、高潮の浸水。

Q 危険個所は何か所か。

A 156カ所が土砂災害警戒区域に指定されている。

Q 県から指定された危険個所は、各自治会の区長に報告をしているか。

A 日頃より連携を図

り、対策を進めている。

Q ため池管理法に届け出した、ため池の数は何か所か。

A 44カ所。そのうち2カ所は、行橋市が受益を受けている。

Q 水漏れが発生している危険なため池は。

A 劣化状況調査では3カ所程度、漏水の恐れがあるが、現状は問題なく、経過観察となっている。

Q 区長、役員などには連絡しているか。

A 区長、水利組合などに連絡はできている。

Q 小中学校の防災教育は非常に大事だ。先生方の連携など、保護者にも説明し、教育委員会が単独で取り組んでほしい。

A 効果的に避難訓練が行われるように、内容と時間の見直しを図っていききたい。

### パンジープラザの廃止

Q 令和3年度、令和

いく。

Q ぬくもりのある福祉の充実。福祉関係者の方々に、ゆとりを与える施策を。

A 理解して頑張っている。

### 選挙の投票

Q 投票率の向上のた

め、他の市町村もやっているコミュニティバスの無料運行をできないか。

A 今後、検討してみたい。



西ヶ迫池 (猪熊)

# 初めての温水プール授業（片島小学校）



6月21日、片島小学校全校（41名）の水泳授業を苅田町民温水プール「スイミー」で行いました。今年度、片島小学校と新津中学校は4年ぶりの水泳授業を町民プールにて試験的に実施。

町民プールを利用するメリットは、安全性の向上や、インストラクターから直接指導が受けられることです。



プール楽しいね！



片島小の水泳授業



## 表紙の写真

末石伸二  
政府は、新型コロナウイルス感染症の日常における基本的感染対策を一律に求めることはなくなりました。あれだけ大変だった感染症対策が、今では何もなかったかのよう。現在では、依然として続く物価高に、普段の生活費への影響も負担増となつています。安心・安全で暮らせる、そして皆さんの声をかたちに変えられるよう、議会と執行部がともに、未来ある元気な町づくりしっかりと全力を尽くします。

## あとがき



写真左より榎谷委員、小山委員、沖永委員長、友田副委員長、梶原委員、村上委員、末石委員

このメンバーでの広報編集は今回で最終となりました。ありがとうございました。

- |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 委員   | 委員   | 委員   | 委員   | 委員   | 副委員長 | 委員長  |
| 末石伸二 | 村上智宣 | 榎谷忠明 | 小山信美 | 梶原弘子 | 友田敬而 | 沖永義樹 |

## 議会広報特別委員会